

10. 特定行為研修修了者の活動を推進するためには  
座長：澤田真紀(国立病院機構本部医療部サービス・安全課)  
安藤肇史(国立病院機構宮城病院院長)
- (1) 看護管理者の立場から  
佐藤由紀(日本海総合病院副院長兼看護部長)
- (2) 医師の立場から  
川井和哉(近森病院院長)
11. 地域の医療問題に挑む～医療MaaSの取組み～  
座長：伊藤弘人(東北医科薬科大学医学部医療管理学教室教授)
- (1) 地域医療構想と遠隔診療の実例  
堤 雅宣(厚生労働省医政局地域医療計画課地域医療構想推進室長)
- (2) Mobility Innovation～医療MaaSの取組み～  
松井拓己(MONET Technologies(株))
- (3) 長野県伊那市 医師の乗らない移動診療車が挑む地域医療問題  
安江 輝(伊那市商工観光部工業推進係長)
- (4) 岩手県北上市におけるモバイルクリニック事業(北上済生会病院)
12. 人生の最終段階における意思決定支援～医療・ケアのあり方～  
座長：新倉 仁(国立病院機構仙台医療センター副院長)  
寺島敦子(仙台市立病院副看護部長)
- (1) がん患者に寄り添った人生会議  
上村恵一(斗南病院精神科長)
- (2) 急性期の意思決定支援  
齋藤 美香子(国立病院機構仙台医療センター看護師)
- (3) 高齢者の意思決定支援  
西川菜央(国立病院機構仙台西多賀病院看護師)
- (4) 地域とつなぐ意思決定  
大城京子((株)Old-Rookie居宅介護支援事業所・快護相談所 和び咲び副所長)
13. 尊厳と安全をどう守るか～介護・医療現場における転倒・転落と身体拘束～  
座長：杉山良子(RoomT2転倒転落研究会)  
島村弘宗(国立病院機構仙台医療センター医療安全管理室長)
- (1) 急性期病院における転倒転落と身体拘束 身体拘束0に向けた取組み  
笠松 奈津子(手稲溪仁会病院TQMセンター医療安全管理室)
- (2) 慢性期病院における転倒転落と身体拘束 抑制に頼らない看護  
梅津光香(定山溪病院看護部長)
- (3) 精神科看護(領域)における転倒転落と身体拘束  
吉川隆博(東海大学医学部看護学科教授)
- (4) 転倒・転落に対する病院・施設の法的責任  
伊藤佑輔(伊藤佑輔法律事務所)
14. 医療DXの推進～その取組と現状～  
座長：石川賀代(社会医療法人石川記念会HITO病院理事長)
- (1) 医療DXビジョン2030  
田中彰子(厚生労働省医政局参事官)
- (2) 医療DXの推進～その取組と現状～  
北岡有喜(京都岡本記念病院副院長)
- (3) 電子処方箋導入推進と現場の課題  
土屋貴男(公立岩瀬病院院長)
- (4) 医療DXの推進～その取組と現状～  
石川賀代(社会医療法人石川記念会HITO病院理事長)
15. 災害医療マネジメントの変遷  
座長：近藤久禎(厚生労働省/国立病院機構本部DMAT事務局次長)  
高階 謙一郎(京都第一赤十字病院救命救急センター長)
- (1) 近藤久禎(厚生労働省/国立病院機構本部 DMAT事務局次長)
- (2) 森川精二(金沢市立病院副院長)
- (3) 中森知毅(横浜労災病院救命救急センター長)
- (4) 嶋村文彦(千葉県総合救急災害医療センター副院長)
16. 新興再興感染症に対する備え  
座長：西村秀一(国立病院機構仙台医療センターウイルスセンター長)
- (1) つぎのパンデミックへの病院の備え  
押谷 仁(前東北大学大学院教授)
- (2) あたらしいダニ媒介感染症とその治療(保健所の役割)  
西條政幸(札幌市保健福祉局医務・保健衛生担当局長)
- (3) 世界の蚊媒介性ウイルス感染症と日本の今後  
高崎智彦(前神奈川県衛生研究所長・BML顧問前国立感染症研究所室長)
- (4) エムボックス(旧サル痘)の世界の現状  
森川 茂(前岡山理科大学獣医学部教授 前国立感染症研究所室長)
- ◆市民公開講座  
演者：澤 穂希(元サッカー日本女子代表)
- ◆一般演題(口演・ポスター)
- ◆クリティカルパス展示
- ◆ランチョンセミナー 等